

令和元年 10 月 8 日

データサイエンス・オンライン講座 「社会人のためのデータサイエンス入門」の開講

総務省は、本日、将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」を開講します。

本講座は、データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座です。

- 本日、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」を開講します。
- 本講座は、平成 27 年 3 月に開講、平成 30 年 5 月にリニューアルを実施し、延べ約 7 万 6 千人に受講していただきました。
統計学の基礎やデータの見方のほか、国際比較データを使った分析事例や公的データの入手・利用方法の紹介等、データ分析の基本的な知識を学ぶことができる内容となっています。
- 本講座紹介用ウェブサイト (<https://gacco.org/stat-japan/>) から、どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）ですので、是非御活用ください。

※ 本講座は、平成 30 年 5 月に実施した講座を再び開講するものです。

※ 「政府統計の総合窓口（e-Stat）」のリニューアル（令和元年 5 月 1 日）に伴い、講義の一部を更新しています。

（別添資料）

別紙 データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」の概要

（連絡先）

統計局統計情報利用推進課

担当：本橋課長補佐 桑原係長

電話：03-5273-1023（直通）

FAX：03-3204-9361

E-mail：y-senryaku_atmark_soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。メールを送る際に「_atmark_」を「@」に直して入力してください。）

講座の目的：統計学の基礎やデータの見方等、データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用役に役立つ

開講日：令和元年10月8日（火）

学習時間：1回10分程度×6～9回程度（1週間）×4週

課題：各週の確認テストと最終課題の実施

講師：西内啓氏（統計家）、大学教授等、
総務省統計局及び（独）統計センター職員

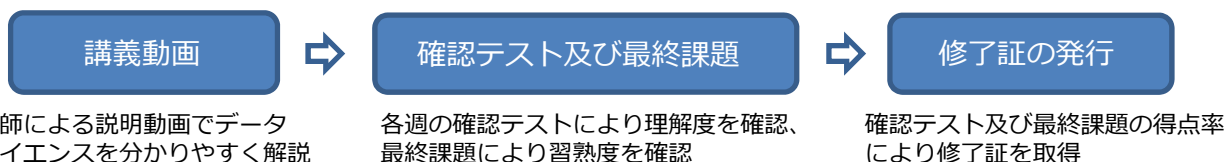


週	各週のテーマ	内容
1	統計データの活用	豊富な分析事例を通じ、分析に用いる統計的な考え方・データの見方の基本的な考え方を学ぶ（データサイエンスとは、M字カーブの改善効果、国際比較データから日本社会を読み解く等）
2	統計学の基礎	データ分析に必要な統計学の基礎的な理論を学ぶ（代表値、分散・標準偏差、関係の見方・相関係数、回帰分析、標本分布等）
3	データの見方	データの見方について基本的な方法を学ぶ（比率の見方、時系列データの見方等）
4	公的データの使い方とコースのまとめ	誰もが入手可能なデータである公的統計データの入手方法を学び、コースのまとめを行う（公的データの入手方法、e-Stat ^{※1} や統計ダッシュボード ^{※2} の使い方、コースのまとめ等）

※1 政府統計の総合窓口

※2 主な統計データをグラフなどに加工して、視覚的に分かりやすく簡単に利用できる形で提供するWebサイト

▶ 講座の流れ



▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

「社会人のためのデータサイエンス入門」

(講座の特徴)
データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

(開講時期)
平成27年3月・11月
平成28年3月※・12月
平成29年5月※
平成30年5月、11月※
平成31年4月※

(学習時間)
1回10分程度×6～9回程度
(1週間)×4週

(実績)
社会人を中心に延べ
約76,000人が受講

「社会人のためのデータサイエンス演習」

(講座の特徴)
「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

(開講時期)
平成28年4月・11月※
平成29年11月
平成30年6月※
令和元年5月

(学習時間)
1回10分程度×5～6回程度
(1週間)×5週

(実績)
社会人を中心に延べ
約36,000人が受講

「誰でも使える統計オープンデータ」

(講座の特徴)
公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ

(開講時期)
平成29年6月・10月※
平成30年12月

(学習時間)
1回10分程度×5～7回程度
(1週間)×4週

(実績)
社会人を中心に延べ
約15,000人が受講

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座